

新聞販売業の労働災害発生状況

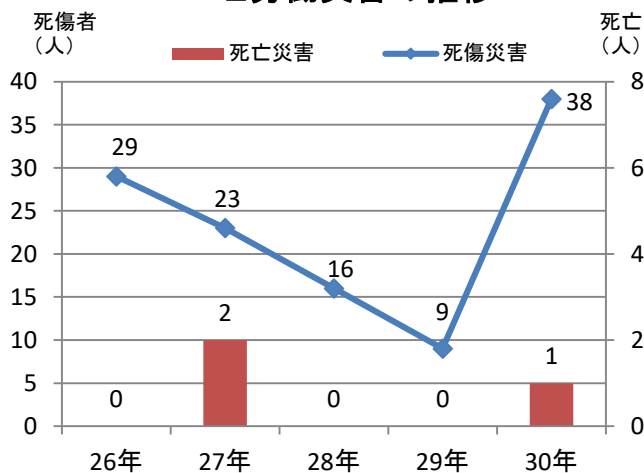
新聞販売業の労働災害（休業4日以上[※]の死傷災害「以下同じ」。）は、平成26年の29人から平成29年の9人と減少傾向にありましたが、平成30年は38人と5年間で**最多**となっています。



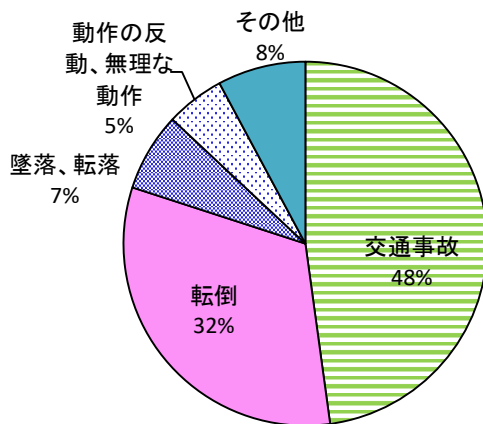
- ・労働災害の**9割以上**は、配達中に発生している。
- ・事故の型は、**48%**が交通事故、**37%**が転倒災害で、この2の型で全体の**8割以上**を占めている。
- ・交通事故の**7割以上**がバイクでの配達中に発生している。
- ・月別では、寒い時期や雨の多い時期に多く発生している。
- ・年齢別では、60歳以上の方の災害が**69%**を占めている。

新聞販売業の労働災害発生状況 平成26年～30年

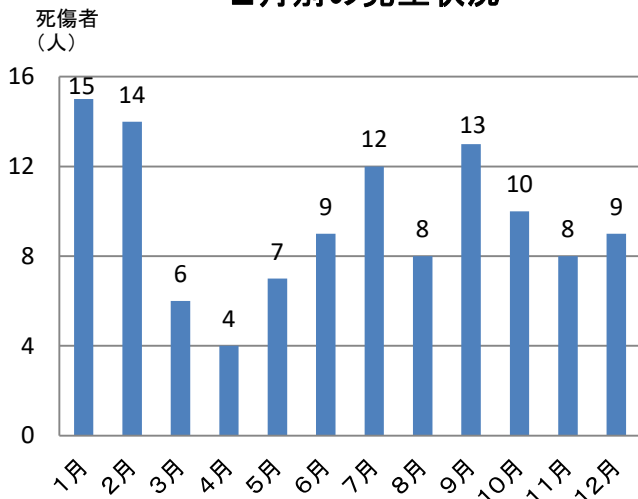
■労働災害の推移



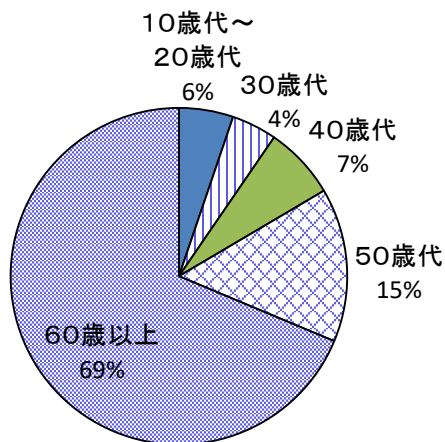
■事故の型別発生状況



■月別の発生状況



■年齢別発生状況



資料：労働者死傷病報告（休業4日以上）。



【配達中の交通事故、転倒災害を防ぎましょう！】

1 バイク運転中、又は歩行中の交通労働災害を防ぐために

- ① 運転者は**スピードの出し過ぎ**に注意し、カーブでは十分に減速しましょう。
- ② 車両のタイヤは、**路面の状況に合ったもの**を使用しましょう（例：スタッドレスタイヤ）。
- ③ 運転者は**車間距離を十分**にとりましょう。
- ④ 運転者は日の出前や薄暮の時間帯に限らず、日中でも**ライトを点灯**しましょう。
- ⑤ 運転者は朝刊配達時間帯など交通量が少ない場合でも、**一時停止等の交通ルール**を必ず守りましょう。
- ⑥ 運転時及び歩行中は**蛍光・反射シールの貼付、蛍光・反射ベスト**を着用するなど、他の者が認識しやすい目立つ服装を心がけましょう。
- ⑦ 配達経路を事前に点検して、危険な箇所を洗い出して**危険情報マップ（新聞配達ヒヤリマップ）**を作成し、危険を予測した運転、行動を行いましょう。

2 配達、集金中の転倒災害を防ぐために

- ① **滑り止めのある靴**を着用しましょう。また、靴は自分の足に合ったサイズのものを使いましょう。小さすぎる靴では足指が動かしく、バランスを崩したときに足の踏ん張りが効かなくなります。逆に大きすぎる靴では歩行のたびに足が前後斜めに動いて、靴のつま先やかかとが足の動きに追従できなくなります。
- ② 時間に余裕のある配達計画を立てて、**慌てず、急ぐときほど落ち着いて**足元に注意して歩きましょう。また、**滑りやすい場所では小さな歩幅**で歩きましょう。

3 その他

熟練者や高齢者の特性にも十分に配慮し、うっかり、ぼんやり、思い込み、省略、ルール無視等の**不安全行動を排除**するため、定期的に安全教育を行いましょう。



災害事例

事故の型	性別	年齢	休業見込み	災害の概要
交通事故	男	58	1ヶ月	バイクで走行中、路面が雨で濡れている交差点を右折する際、バイクの後輪が滑り転倒し右足を骨折した。
	男	74	12ヶ月	路面が凍結したゆるい左カーブの下り坂を、軽自動車で行き中にスリップし、橋の手前より川に転落した。
	男	75	死亡	アイスバン状態の直線道路を渡って配達中、滑って転倒したところを車に轢かれた。
転倒	女	66	1ヶ月	自転車を止めて、新聞をポストに投函しようとしたところ、ポスト前の側溝に右足を投入転倒した。
	男	64	10日	事務所に新聞を投函した後、玄関前の駐車禁止ロープを乗り越えて行く時、ロープに足が引っ掛け転倒した。
	女	75	1ヶ月	徒歩で配達中、玄関タイルが凍結していたため滑って、転倒し左足を骨折した。
転落	男	77	2ヶ月	アパート2階の配達先に投函した後、階段を降りる際に、足を踏み外して階段から転落した。